

「中国残留婦人」を知っていますか

東 志津 著



日本人にとって「満洲」そして「満洲国」「中国残留婦人」がど
とは何だったのか。当
時の体験者が年々少
くなりつつある今、本
書はその解答を与え
くれる貴重な記録とい
えるだろう。

完成後も取材を重ね、
「中国残留婦人」がど
のようにして生まれ、
今日までどのように生
きてきたのか、その壮
絶な人生に迫った。
栗原さんは1925
年(大正14年)生ま
れ。小学校
を卒業して
青年学校
へ。卒業の
前年、先生
から「女子
拓殖講習
会」へ行くように言わ
れる。「満蒙開拓女子
義勇隊」を募るための
勧誘活動だが、本当の
目的は満洲の開拓団で
働く若者たちの花嫁集
めだった。がそれは隠
されていた。
まっすぐな性格の彼
女は御多分に漏れず軍
国少女だ。「女性でも
満洲に行ってお国のた
めに働ける」と感激
し、家族の猛反対を押
し切り、渡満した。敗
戦の前年だ。
黒竜江省の勃利女子
義勇隊訓練所に辿り着
いたが、夢はたちまち
崩れ去る。集団見合い
から合同結婚式を経て
3カ月後、栗原さんは
妊娠。その矢先、夫に
召集令状がきた。
日本敗戦後の地獄の
逃避行の末、難民収容
所に入るが夫は行方不
明のまま。生まれた
子どもと二人で生き延
びるには中国人男性と
の結婚しか道はない。
日本への集団引揚げ
が始まったが、彼女は
そのことも知らずに過
ごしてきた。
新中国での大躍進運
動や文革体験などの中
国現代史の苛酷な一面
と、棄民のように彼女
たちを置き去りにした
日本という「国家の実
体」とその酷薄さを、
本書で知ることができ
るだろう。

著者は2007年に
『花の夢―ある中国残
留婦人―』という記録
映画を発表した、まだ
30歳代後半の本当に戦
争を知らない世代であ
る。映画の主人公であ
る栗原貞子さんに作品

岩波ジュニア新書
☎03-5210-4000
820円(税別)

非情な人生を逞しく
生きた女性と、言葉の
真の意味でヒューマニ
ティー溢れる、実にや
さしい中国人の夫との
二人の人生に涙を禁じ
えない。(大類善啓)